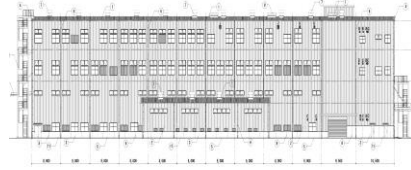


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田浦倉庫新設工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県横須賀市田浦港町446-42	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年4月19日
敷地面積	26,354 m ²	作成者	株式会社 泉創建エンジニアリング
建築面積	5,962 m ²	確認日	2017年4月19日
延床面積	15,115 m ²	確認者	株式会社 泉創建エンジニアリング



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
工場と事務所の併用施設で一部作業スペースもある為、外壁には断熱性能の高い材料を用い、省エネルギー性能を高めている。	-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
-	内装・外装仕上材、設備配管に高耐久材料を使用し、対応年数を向上させ信頼性を高めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
Low-Eガラス、空気熱源ヒートポンプパッケージ、LED照明、自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機を採用し、省エネルギー性能を高めている。	・擬音装置、自動洗浄型便器、自動水栓を積極的に採用し、節水に努めている。 ・躯体+仕上材について容易な分別計画、再利用できるOAFフロアの採用等、部材の再利用の可能性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	LR3 敷地外環境
-	燃焼機器を使用しない、広告物照明のない計画等、環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される